

## 次世代自動車センター活動レポート Vol. 34

### ■ 第2回自動車工学基礎講座の開催

当センターでは、会員企業の皆様が四輪車に関する自動車工学の基礎を体系的に学んでいただく機会として、今回、西部地域としては初めて、「四輪に関する自動車工学基礎講座」を（公社）自動車技術会共催のもと、第2回目を下記のとおり開催しました。

- 日 時 : 令和元年12月11日(水) 13時30分～17時00分
- 場 所 : ホテルクラウンパレス浜松 芙蓉の間
- 参加者 : 81名
- 次 第

#### 開会

開会挨拶：次世代自動車センター センター長 望月 英二

来賓挨拶：（公社）自動車技術会 技術者育成委員会 副委員長 佐藤 育男 氏

#### 講義（Ⅰ）会員企業アンケート調査結果報告

講師：次世代自動車センター センター長 望月 英二

#### 講義（Ⅱ）「モデルベース開発」の基礎

講師：株式会社 ミツバ 技術開発担当 常務執行役員 尾形 永 氏

#### 講義（Ⅲ）「CAE技術」の基礎

講師：株式会社デンソーエアークル 開発部 技術支援室 次席部員 南山 雄一 氏

#### 閉会



<開会、講義風景>



### < 講義風景 >

#### 【参加者の声】

- ・他社もCAEに関し同様の問題を持っていることが分かった。
- ・他社の情報・状況が理解できた。例を挙げながら大変分かりやすい説明であった。
- ・今後はCAEに基づいた提案ができるようにならないといけないことが認識できた。
- ・日常業務ではあまり触れない分野だったので知見を広げることができた。
- ・モデルベース開発の大切さが理解できた。今後ますますMDBが進むと感じた。
- ・自社の工程にどのように反映させるか考える機会になった。
- ・チョコロQの例は興味深かった。最後のモデルはまず現物から作るという言葉はよく理解できた。
- ・社内教育も含め、CAEの目的・考え方・新しい手法などの紹介がされて勉強になった。
- ・様々なCAEがあることがよくわかった。
- ・CAEをどうやってうまく使っていけばよいか、問題点等が理解できた。
- ・業務の効率化や品質の向上に繋がるようにするためには何が必要かを考えながら取り組んでいきたい。
- ・CAEに関しては、新製品のプレゼンには必須となってきているため、用途に合わせたCAE及び結果の考察方法に力を入れていきたい。